

令和5年度 かながわティーチャーズカレッジ

COLLEGE NEWS

カレッジニュース



令和6年1月28日発行
神奈川県立総合教育センター
かながわティーチャーズカレッジ事務局
(教育人材育成課キャリア開発班)

第11回 かながわ教育学講座

令和6年1月14日、第11回かながわ教育学講座が開催されました。今回は、「教員という仕事の魅力と責任」をテーマに、カレッジを修了して、今年度から学校現場で活躍されている各校種の初任者によるシンポジウムを行いました。

シンポジウム「教員という仕事の魅力と責任」

シンポジウムではそれぞれの教員生活1年目を振り返りながら、教員のやりがいを感じた瞬間や責任の重さを感じた出来事、受講者に向けてのアドバイス等を話していただきました。受講者は話を聞きながら、改めて教員の魅力と責任を実感した様子でした。



ーカレッジの先輩方の言葉からー

- ・日々子どもの成長を感じられることが何よりのやりがいとなる
- ・教員の日常の行動や振る舞い、言葉かけ等が子どもたちに大きな影響を与える
- ・気になったこと、困ったことは周りの先生にすぐ連絡・相談



グループ活動「めざすべき教職員像」

グループ活動では受講者はシンポジウムでの話やこれまでの学びを基に、自分自身の「めざすべき教職員像」やそれを実現するためにこれからすべきことについて、思考ツール「マンダラート」を用いて整理しました。作成した「マンダラート」を見せ合いながら、グループの仲間とそれぞれの考えを共有し、より具体的な理想の教員像に迫りました。また、シンポジストが質問を受けに各グループを巡りました。「実際に教員となり、どのような困難があったか」「仕事の効率化を図るために、どのような工夫をしているか」等受講者からは多くの質問が上がりました。



受講者のワークシートより

《オープンコース》

第4回の際に作成したマンガラートと今回のものを見比べて変わらない部分もあれば変わった部分もあった。自分の想像より変化は大きかったように思う。特にティーチャーズカレッジで多くの人と関わることで影響を受け変化した部分があった。自身の教育への価値観は常に変化していくものだと学んだ。今後も常にこの意識を持ち、変化を恐れない心掛けをしていこうと考えた。

《チャレンジコース小学校》

先輩方からの話に「今の時間を大切にする」という一言があり、先のことを考えることも必要ですが、今いる時間を大切に過ごし、将来に生かすことができるたくさんの経験を積み重ねていくことを心掛けていきたいと思いました。自分自身の行動と発言に意図をもち、感情のままに伝えるのではなく、客観的に状況を判断し、適切な言葉がけを意識していきたいです。子どもと一緒に成長していくことを忘れないでいきたいです。

シンポジウムで話されていた方々に共通して、教員の魅力として、「子どもの成長」が挙げられた。子どもは日ごとに成長するし、様子も異なる。そのため、少しの変化も逃さず捉え、共に成長していきたい。また、心掛けることとして「明日も学校に来よう！」と思えるようにしているとの言葉が印象的だった。めざす職員像をマンガラートに記入したが、どの姿をめざすにしても、この、子どもが学校に来たいと思えるために、自分にできることを毎日実行していくことを根本としていきたい。そのうえで、自分に必要な力を身に付け、理想の教員をめざしたい。

《チャレンジコース特別支援》

今日、現場で働いている先生方の話を聞いた。教科や校種も様々で色々な考え方や思いを聞くことができた。その中で、特別支援学校はチーム連携が大切だと改めて実感した。教員同士や保護者などと連携することで子どもたちへの指導・支援が確実なものになると感じた。加えて、外部の障害福祉との連携を図ることで、子どもたちを多面的・多角的に見ることができ、さらに支援の幅が広がっていくと感じた。

《チャレンジコース中学校英語又は高等学校英語/中学校国語又は高等学校国語》

実際に現場で働く先生方の話を聞き、マンガラートを作成したことで改めて自分を見つめることができた。教員になりたいと強く思ってこのかながわティーチャーズカレッジに参加したが、心のどこかでずっと不安が拭き切れずにいた。グループでの質疑応答の時に「大変とは思いますが嫌だとは思わない」と仰っていたのを聞いて、不安が消え、このまま真っすぐ目標に向かって進んでいこうと覚悟を持つことができた。作成したマンガラートは今の私を言語化したものだから、部屋に飾ろうと思う。生徒の人生に関わり、影響を与える教員を目指す身として、今日の講座はとても心に響くものがあった。学んだことを活かして、今後の自分に活かして成長していきたいと強く思った。